

令和元年度分_地方創生推進交付金の評価

対象事業 つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト

サイクリングモニターツアー等

(令和元年度分_地方創生推進交付金)

評価日時 令和3年3月19日(木)午後1時30分～

(常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議時)

会議場所 常総市役所 議会棟2階大会議室

評価者 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員

評価方法 事務局より事業結果等について説明し、質疑応答の後に「KPI達成に有効であった」もしくは「有効とはいえない」の2択を会議出席の委員に評価を受けるほか、意見を集約した。

～評価結果～

○評価結果 「有効であった」・・・13名

「有効とはいえない」・・・1名

○事業に対する意見

1	ポタリングを企画し、現地調査、コース設定、コース内における観光スポットの認識、場合によっては受入態勢の整備等も行われたと思います。コロナが収束した後は比較的簡便に実行できるものと理解しております。 本来であれば、効果があったかどうか、評価を行うべき段階にないと思いますが、将来性に期待し、効果があったと判断します。
2	観光プロジェクトとしてサイクリングを通してのイベントは中止になってしまったものの、マップ作成や今後のPRに向けた仕掛けができたことは一歩前進。 モデルコースの設定ができたことで、市内のロードマップに対する検証はしっかりと行ってほしい。 ロードマップ上の立ち寄り場所への検討も次回から計画に入れてほしい。 (トイレやサイクルスタンド等、どのように利用していけるか、店舗との調整も必要かと思っています。)
3	コロナの影響によりツアーが中止となり、全体の評価を出すのは難しい状況であるが、コロナによって全国的にサイクリング等、外での活動が盛んになっている。今

	後の活用を期待したい。
4	移動手段が自転車であることから、ゆっくりと道中を見学することができ、また常総市の名所も網羅されたツアー内容。事業として有効であると思慮します。
5	「新しいひとの流れをつくる」の件について、交通アクセスを見直すことが急務。市街地の基本的な総合戦略を具体的に進めることが急務と考える。
6	鬼怒川サイクリングロードマップは、常総市の魅力アップに有効と感じます。新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、再開催を望みます。
7	ツアー内容がすごくよかっただけに、中止となった事はとても残念だったが、課題把握のための成果があった意見に思うので、次回是非実施してほしい。 その際、PRを移民にもお願いしてはいかがかと思う。生まれ育った地域を自慢できる機会であり、市民にとってもうれしい気持ちが生まれるのではないかと思います。開催前のPR、チラシ、ポスター配布は早めに行ってもらった方がいいと思います。